

| 伝道弟子牧会者と副教役者が準備しなければならないこと-答え(使徒 1:14) | 70人重職者の答え(ローマ 16:17-20) | ミッションホーム作品の現場詩 78:70-72) | 専門の働き:神様が最も祝福する人-関係専門 |
|--|--|---|--|
| <p>*序論-問題(祝福) ▲牧会者と副教役者が準備しなければならないことは何か。使徒 1:14 節を一言で要約してしまえば「答えをみな得た者たちだ。それなら、私たちは答えを与えなければならぬ。」 (1)教会-レムナント7人があらかじめ答えを持っていたので、何も問題にならなかった。 (2)重職者-初代教会が極限の困難の中にいながら、みな勝った。 (3)レムナント-初代教会が250年の間全く答えを受けられなくて死んだが、250年が過ぎた後にローマが完全に征服された。 (4)これができなければ問題の主役が教役者になってしまう。 ▲弟子訓練の一番重要なことが、問題がくるとき、答えを与えなさい。 13つの今日を通して答えを与えなさい (1)過去は完全に土台にするのだ。 (2)現在、今日を最高にするのだ(ヘブル 4:16) (3)未来-そうすれば、私たちの未来はビジョンもなるが、神様が私たちにいつも希望をくださる。 ▲この答えを与えるのが最も重要な部分になる。 2アイデンティティーに対する答えを与えなさい ▲すべての人はアイデンティティーがみな違う。そこに対する答えを与えなければならぬ。アイデンティティーの中で最も重要な部分が何か。 (1)使徒 1:14、結論、結果、過程 1)結論-使徒 1:1 節という結論を持っているのだ。 2)結果-地の果てまで証人になる。 3)過程-神の国は今日という過程 (2)使徒 2:1-47、毎日5つの重要な力を得る人 (3)使徒 11:19-30、全世界が同じ霊的問題にあっているから、その答えを与えなければならぬ私たちがアイデンティティー 3さらに重要な個人に答えを与えなさい (1)コリント 16:19、プリスカとその家にある教会 (2)コロサイ 4:7、テキコには重要な手紙を伝える使命 (3)ローマ 16:20、サタンがあなたがたの足の前にひざまずくようになる。 *結論-この答えを見つけ出すのにいくつか参考にする (1)定刻祈りということば 1)霊的狀態をいったりもする。 2)答え-定刻祈りのとき、重要な答えを与えられる。 3)ダニエル 6:10、使徒 3:1、使徒 10:1-6、未来も見える。 ▲教会員全員を置いて答えを与えられる定刻祈り。すべての重職者を置いて正確な答えを与えるべきだ。これが弟子訓練だ。 (2)成功-核的部分をのがさず一人で祈りができる力を得るようには助けなさい。 (3)聖霊の導き-「なぜ」すべからぬ、という質問をよくしてみななければならぬ。 ▲このすべてを合わせたことを「聖霊の満たし」と言う。それで、牧師は行ったらこのようにしなさい。牧会者のお手伝いをするチームを構成しなさい-教役者+長老+按手執事+勳士+青年+大学生。この6-7人を持ってお手伝いをさせれば、すべての重職者に正確な答えを与えられる。 ▲この全てのことをすべてした後に、くださなければならぬ決断がある。今朝、今夜にも、私だけ持っている聖霊の満たしの奥義を必ず持つていなければならぬ。イエス様が約束された(使徒 1:8)もう(2012年)伝道者の生活を実現させるのだ。それで、今日、すべての牧会者、副教役者、一般信徒の中で指導者級にある人々が、この答えを出すことを望む。</p> | <p>▲重職者の方たちが明らかな答えだけ持っていれば、多くの人を生かせる。 1重職者はすべてを祝福する人だ→問題を見る目 ▲神様が確かに働かれるから問題になる必要がない。 (1)ピリピ 4:6、第一に重要な祈りが何も心配せずに、むしろ祈りと願いをもって感謝して知っていただきたい。 1)心遣→伝道の祈りの課題だ。 2)祈りの課題→必ず答えがあるということだ。それで感謝を持って知っていただきたい。 (2)使徒 5:1-11、使徒 6:1-7、危機-重職者が堅く立った。 (3)使徒 11:19、このかん難を通して教会史の中で大きい答え、宣教の門が開かれたのだ。 2重職者は必ず3つの道を分かなければならぬ→歴史を見る目 (1)唯一性-福音を持った人が行く道は唯一性の道だ。 (2)確実性-もしみなさんが伝道運動の中に入ったら、最も確実な答えを受けようになる。 (3)完全性-聖書に最も重要な単語が五個ある(散らされた者、残された者、隠された者、レムナントサミット、伝道弟子、ゼバニヤ 2:7)その道に行きなさい。 ▲この目を開いて見るとき、すべての心配は祈りの課題で、危機は祝福で、かん難は宣教の門だ。こういう重職者が出てきて人々を信仰で助けなければならぬ。 3弟子を探し重職者→働きを見る目 (1)種類の畑があるということを知って探さなければならぬ。 ▲良い地(実)-道端、イバラの道、石畑に落ちたものがある。私たちは良い地を見手するのだ。 (2)エリート ▲エリートも二種類だ。全く福音が入らないで自分の話だけ続けるエリートが大部分だ。しかし、本当のエリートは福音もよく入って準備されたエリートが多い。重職者は弟子を探すべきが一番重要な働きだ。 (3)ローマ 16:1-27 弟子を探すのだ。 ▲イエス様がこのように約束された。 1)とも一世の終わりまでいつもともいいる。 2)いやし-マルコ 16 章には弟子を探すべき人にいやしの働きを話された。 3)聖霊力-弟子を探すべき重職者に聖霊でともいいて力と働くと言われた。 ▲伝道するとき、常にいくつかの目を持っていなければならぬ。 (1)使徒 13:48、今日、救われる人がいる。 (2)使徒 8:26-40、この中のみことばを慕い求める人がいる。 (3)使徒 9:1-15、この中確かに弟子が入っている。 (4)ローマ 16 章派遣-畑がとても多いから、このことをするために派遣する人がいる。 *結論-重職者が何を信じるべきか。 (1)神様の絶対主権を信じなければならぬ(生まれたこと、死ぬこと、住んでいる国と地域は私の思いどおりになるのではない。) (2)神様の絶対祝福が何か。出会いだ。 (3)神様の絶対計画はまさに弟子だ。 ▲このように結論を出せば良い。今日、最高の答えを受ける日になることを希望する。</p> | <p>*序論 ▲ミッションホームは、たんにするのではなく、作品の現場にしなさい。たんに作るのではなく、あることを活用するのだ。ミッションホームでは必ずすべき3つの作品がある。 1.3つの作品 (1)使徒 2:42、講壇メッセージ-これを持って作品を作るのだ。 (2)現場-メモ(伝道日記、記録) ▲タビデはとも困難がくれば文を書いて、神様が答えをくださった文を書いた。あなたの現場で伝道日記を書きなさい。あなたの現場作品を作りなさい。 (3)私の仕事(学業)を作品にしなさい。 1)使徒 18:1-4、プリスカ夫婦のように。自らの職業を完きな作品にした。 2)皿コハネ 1:2、ローマ 16:23、ガイオのような人物がすべての伝道者の家主の役割をした。自らの産業を完全に作品にした。 3)ピレモン 1:1-25、ピレモンのような人は、自分の人生の最も重要なことを伝道と教会のために、自分が持った経済全体を世界福音化のために。 2伝道の作品 ▲私たちのレムナントが伝道の作品を作らなければならぬ。 (1)人生ストーリー ▲今からあなたが神様の恵みを受けたことを持って、とても簡単に人生ストーリーを作りなさい。 (2)そして一生の伝道を具体的に計画しなさい。 (3)3つの今日-これを成就させるのが3つの今日だ。3つの今日を最後までしなさい。そうすれば、神様があなたを重要な地位に用いられるだろう。 3文化作品 ▲レムナントが文化の作品を作りなさい。 (1)学業、芸能、スポーツ ▲それでレムナントが学業、芸能、スポーツを持って文化ができるようにしなさい。 (2)宗教文化を生かすほど、文化を作りなさい。 (3)世の中を生かす文化を作ってみなさい(例をあげると、結婚文化) *結論 ▲このようにミッションホームでこういうものを通してレムナントはとも小さいこと一つに大きい変化が来ることもある。 ▲そのような中でレムナントが一番弱いのに、一番強いところがどこのか。雰囲気だ。レムナントは雰囲気したがって自分を決める。ミッションホームがある家にはこのようにしなさい。 (1)視覚的に見られる、学べることが必要だ。 (2)内容-重要なのは内容だ。内容あるようにしなさい。 (3)祈り-そしてミッションホームで祈りを学んで出て行くべきだ。 1)霊的な目-祈りはひとまずすべての部分を霊的な目で見ると判断を育てるのが祈りだ。 2)祈りを実際どのようにするのかをみなさんが教えた方が良い。 3)聖霊の満たし-そして、祈りの課題の中の課題は聖霊の満たした。 ▲一人でいるとき作品が出てきて、一人でいるとき力を得なければならぬ。これがミッションホームだ。</p> | <p>*序論 ▲神様が最も祝福される人はだれか。一言で簡単に話せば、みなさんが多くの働きの中で多くの人に答えを与えられる関係の専門にならなければならぬ。教会の信徒 1人1人を配慮して答えるべきだ。教会の信徒 1人1人を霊的狀態を知って手助けすべきだ。 1書簡を書いた人を祝福された(Canon) (1)ダビデ-王の中でダビデを祝福された理由が多くの人に信仰告白を文章で送られた。神様はこの書簡を聖書として受けられた。 (2)パウロ-多くの使徒の中でも神様がパウロを特別に用いられた理由は、多くの書簡を送ったが、手紙を書くときも見れば、個人の名前を名指した。 (3)ルター-なぜ神様がマルティン・ルターを祝福されたのか。多くの人々が聖書を見られるように翻訳した人だ。 2関係専門-すべての総局、宣教局は関係を維持するのに専門性を持たなければならぬ。 (1)個人-孤独なところにいる人個人にメッセージを与えて答えを与えるべきだ(I コリント 16:19、II コリント 1:11、ピリピ 1:3-4、コロサイ 4:7、ピレモン 1:1-25) (2)教会の中で1人1人に-使徒 2:43-47、貧しい人にも使徒 6:1-7、すべての重職者に 3) テサロニケ 1:3-5、すべての地教会に ▲ここにすべての神様のみことばと祈りと配慮が行かなければならぬ。 (3)総局-すべての総局に最も願うことが何か。 1)ローマ 16 章のように全体が祈りが通じるようにしなさい。 2)コリント 16 章のように全体がメッセージが通じるように 3)コロサイ 4 章のように全体が祈りの課題が通じるように 3)心-イエス様が一番心を寄せられたところがどこのか (1)難しい人に心で祈りて手助けすれば一生を忘れない。 (2)病気になる人 (3)レムナントの中で未信者の両親の家族を持った子どもには特別な関心を持ってしなければならぬ。 ▲遠くに一人にいるレムナント。本当に配慮しなければならぬ。彼らに力を与えなければならぬ。これよりさらに重要なことはない。専門の働きの中の専門の働きだ。 *結論-それでは、これからどんな重要なことが出てくるのか。 (1)霊的狀態を参考にして手助けするのだ。答えは今私に在る霊的狀態を後ろから追いついて並んでくる。 1)聖霊-私たちがどんな状態かにしたがって聖霊が働かれる。そこに天使が働き。 2)サタン-反対にどんな状態かにしたがってサタンが働く。そこにしたがって悪霊が働く。 ▲今は1人1人にメッセージが行くように、重職者にメッセージが行くようにしなければならぬ。 (2)個人の確立-そして、私たちは個人が確立されるように手助けしなければならぬ。一人でレムナントが生き残れるように後から手助けしなければならぬ。 (3)全体(連合)-答えを受けているとしても全体を見て連合して行くようにしてあげなさい。メッセージを連結して、ともに世界を見るようにさせてあげなさい。 ▲最高の答えがあることをイエス様の御名で祝福します。</p> |